

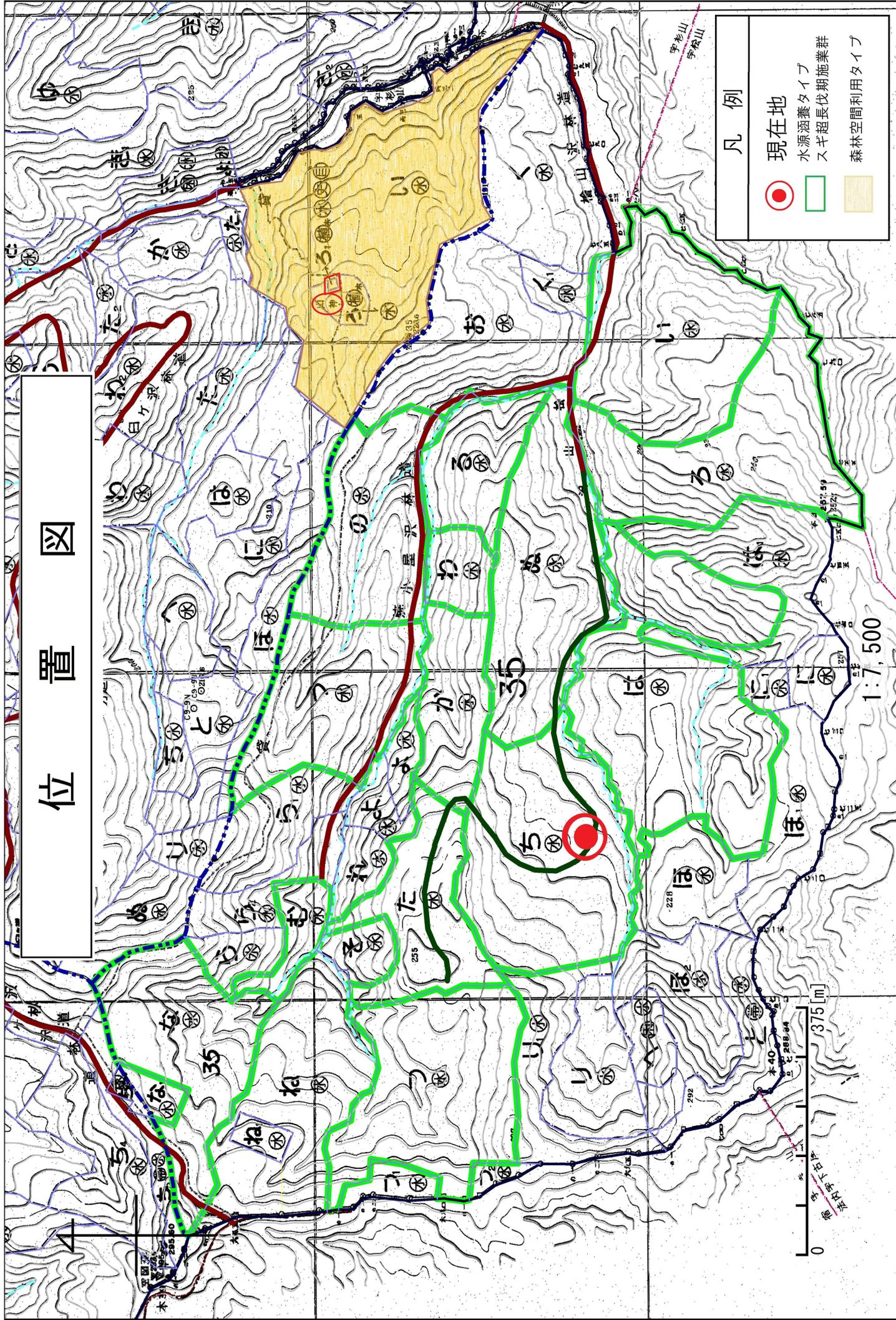
令和4年10月19日

スギ超長伐期施業地（資料）

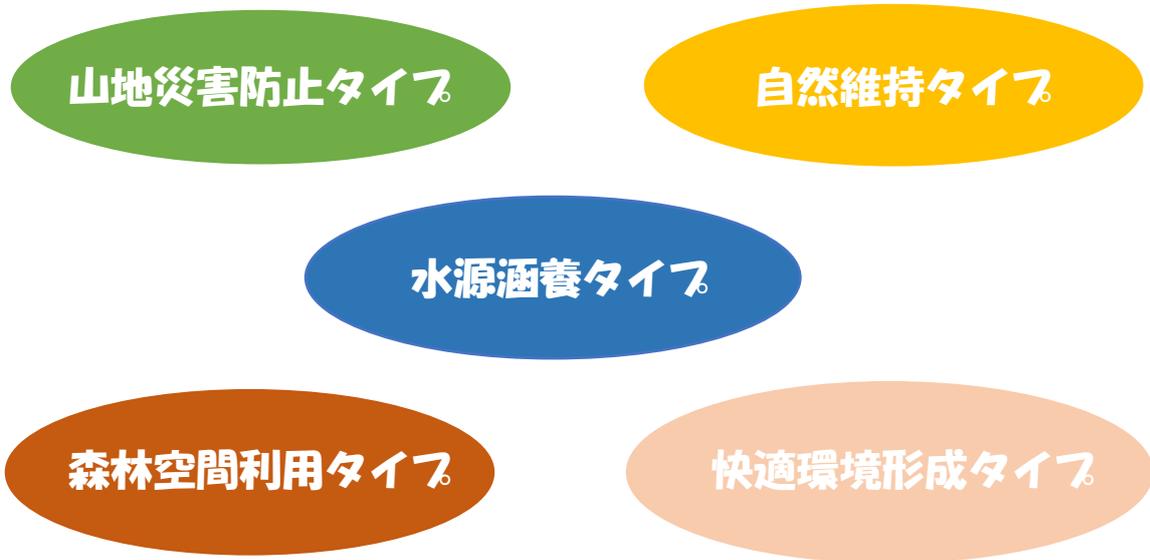


由利森林管理署

位置図



国有林の機能類型と役割について（5タイプ）



～～～緑の治水の役割を果たす「水源涵養タイプ」について～～～

「目的」

良質で豊かな木の安定供給を確保する観点から、浸透・保水能力の高い森林土壌を有し、根系や下層植生の発達が良好な森林に誘導し又はこれを維持するために必要な経営を行う。

森林整備及び保全の基本方針としてはダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林並びに地域の用水源として重要なため池、湧き水及び溪流等の周辺に存する森林は水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

一方、「森林空間利用タイプ」は保健、文化、教育等様々な利用の形態に応じた管理経営を行うものとし、具体的には景観の向上やレクリエーションの利用を考慮した森林整備を行うとしている（隣接八本杉等々）

「設定状況」

由利森林管理署内ではこの水源涵養タイプが 10,920ha を占め、全体面積 (23,707ha) の約 46%を占める。

「施業について」

この水源涵養タイプの施業群として 12 種類 (スギ・カラマツ、ナラ等中小径木、植栽型複層林、等々)があり「スギ超長伐期」施業としては 331.75ha を設定。

施業群	面積 (ha)	比率 (%)
スギ・カラマツ等	2,006.34	18
スギ・カラマツ等長伐期	213.82	2
スギ超長伐期	331.75	3
アカマツ等	42.74	1
植栽型複層林	692.58	6
天然更新型複層林誘導	2,499.73	23
広葉樹択抜	4,350.99	40
ナラ等中小径木	128.64	1
施業群設定外	653.32	6
計	10,919.91	100

超長伐期施業とは？

国有林の施業としては一般的にスギの伐採については子吉川流域では伐期 60 年とされているところですが、特に林地の生産力（土壌や方位等）が高く、健全で良質な大径木を主体に構成が可能な林分については伐期 150 年を上限として「超長伐期施業」を実施しています。

保育等については林齢 60 年までは 10 年をサイクルとして間伐を行い、それ以降は 20 年のサイクルにより間伐を実施します。

間伐を行うことにより、林地に光を入れ、下層植生や落葉落枝によって表土が良く覆われ、緑のダムとして浸透・保水能力のある林分を形成することを目的としています。

現在この流域に生育している超長伐期の施業面積としては

由利森林管理署超長伐期施業面積（白ヶ沢地区）	35 小班	79.53ha
由利森林管理署長伐期施業面積（白ヶ沢地区）	35 小班	5.09ha

「施業地の概要」(現在の林分の概況)

調査地の状況

(秋田県由利本荘市東由利法内白ヶ沢国有林 35 林班ち小班)

- ① 面積 8.69ha
- ② 植栽 昭和 5 年、林齢 93 年、樹高約 30m、平均胸高直径 30cm
(立木一本当たりの材積 1.09m³)

「調査地直近の施業状況」

① 施業内容

平成 30 年度製品生産請負事業

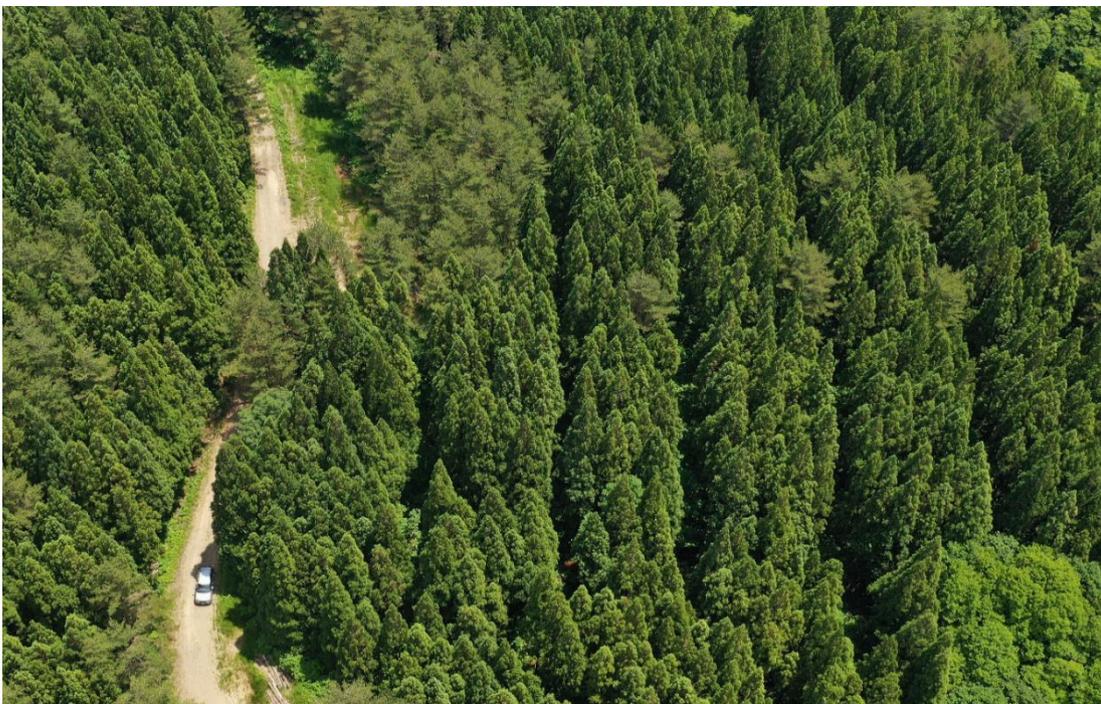
② 団 地 「白ヶ沢地区」

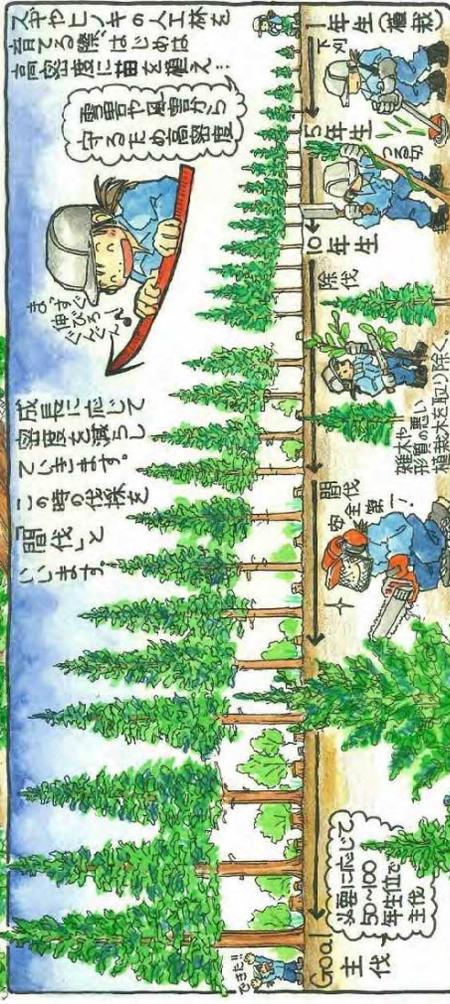
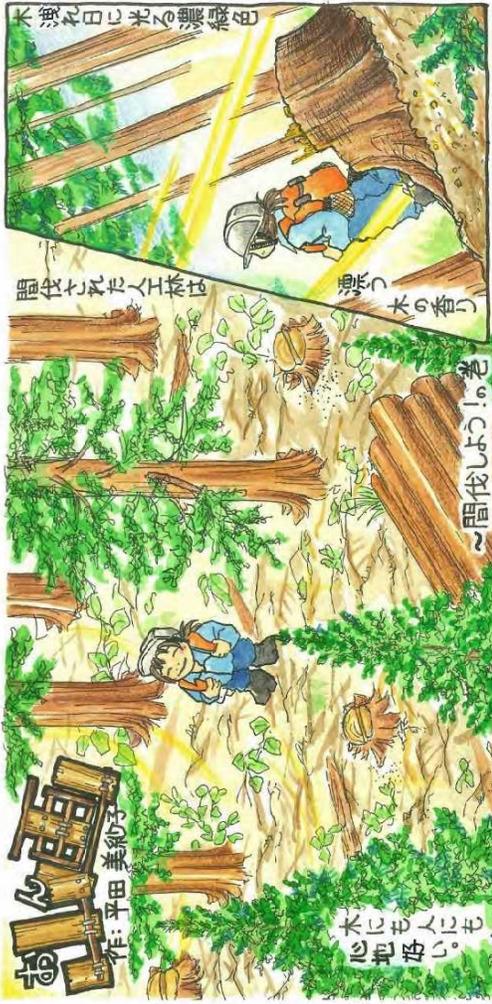
③ 施業内容 「列状間伐=1 伐 2 残(33%)」

④ 施業面積 79.53ha

⑤ 生産量 14,145m³

(列状間伐の様子)



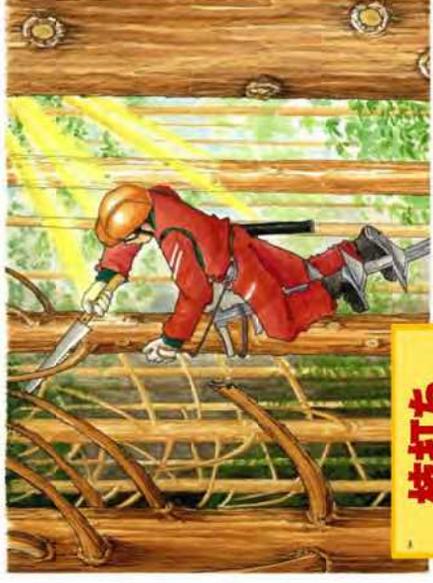




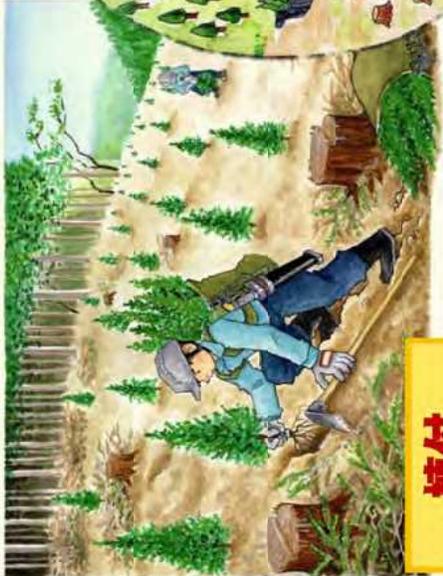
下刈り



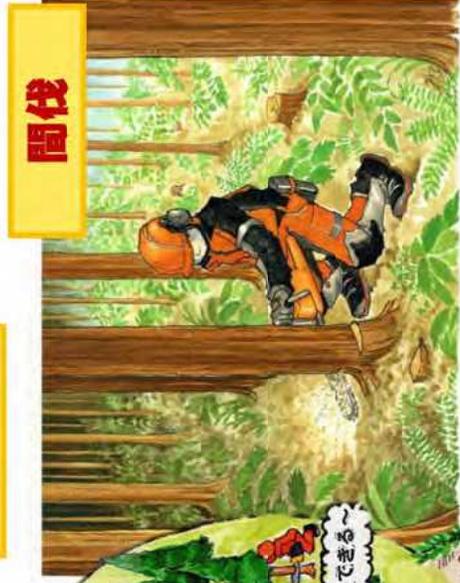
除伐・つる切り



枝打ち



植付



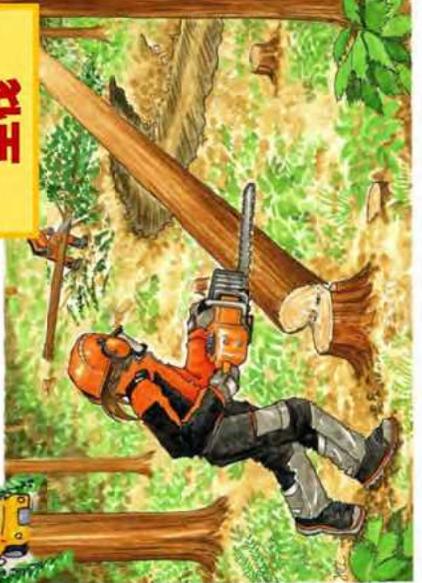
間伐



搬出



地掃え



主伐